

市民の積極的、自主的な文化活動の一層の促進と機会の充実を図るため、現代の文化・芸術の振興に資する事業、伝統的な文化を普及する事業、名古屋市文化施設の管理運営などを行い、もって個性豊かな魅力ある市民文化の創造に寄与した。

1 文化施設等を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

文化芸術の振興を図るため、名古屋市から指定管理者として受託している文化施設等を活用して、様々な分野の文化芸術に関する体験事業や鑑賞事業を実施することで、市民が文化芸術に触れる機会と場を安定的に確保、提供し、豊かで充実した生活の実現に寄与した。

参加・体験事業

(1) 市民参加の朗読劇 ※補助金事業（決算額 3,954,270円）

朗読劇「O.ヘンリーの世界『ニューヨークの片すみで』～時に悲しく、時に心温まるストーリー～」
公募によるオーディションで出演者を選び、練習を経て、舞台上で成果を発表することで、朗読の魅力により深く知っていただく市民参加型朗読劇を開催した。
日程／令和2年1月11日（土）〈2回〉 会場／瑞穂文化小劇場
構成・演出・振付／ほりみか
オーディション応募者数／98人 出演者数／28人
入場者数／543人（入場者好評価率／89.4%）

(2) 市民参加型コンサート NAGOYA GROOVIN' SUMMER 2019 ※補助金事業（決算額 4,807,857円）

地元で活動する学生バンドや社会人バンドが多数出演し、オアシス21を会場としてジャズを中心とした音楽イベントを開催した。
日程／令和元年7月27日（土）～28日（日） ※27日（土）は台風のため中止した。
会場／オアシス21銀河の広場
出演バンド数／名古屋市立若葉中学校 など延べ10組289人
ゲスト出演／たをやめオルケスタ
入場者数／30,960人（入場者好評価率／95.5%）

(3) 子どもアート万博 ※補助金事業（決算額 8,432,495円）

子ども向け、文化芸術、国際交流をテーマに平成29年度より3ヶ年計画で実施。ナディアパーク及び青少年文化センターの各施設を会場に、世界17ヶ国の文化芸術に子どもやその家族が気軽に触れ、参加・体験できる全23プログラムを行った。

日程／令和元年12月21日（土）～22日（日） 会場／ナディアパーク、青少年文化センター

- 1 舞台公演
バレエ「くるみ割り人形」ダイジェスト版
会場／青少年文化センター アートピアホール 〈2回〉
入場者数／1,341人（入場者好評価率／89.3%）
出演／松岡伶子バレエ団
- 2 ワークショップ
「リボンレイでつくるクリスマスツリー」始め10プログラム 〈12回〉
会場／青少年文化センター 第1～3練習室
- 3 アトリウムステージ
「マンドリンのイタリア名曲コンサート」始め8プログラム 〈16回〉
会場／ナディアパーク アトリウム
- 4 その他プログラム
「フェイスペイント体験」始め4プログラム 〈10回〉
会場／青少年文化センター 第1スタジオ、7thカフェ ほか
〈全23プログラム〉入場者数計／7,463人（入場者好評価率／90.0%）

(4) アシテジ世界大会「2020国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル in 名古屋」の準備

※自主財源事業（決算額 1,057,462円）

世界各国と日本の劇団等による子ども向け舞台作品の上演やワークショップを通じて、未来を担う子どもたちに国際レベルの様々な舞台芸術に親しんでいただく、「2020国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル in 名古屋」の開催準備を行った。

日程／令和2年5月9日(土)～10日(日)

会場／東文化小劇場・市民ギャラリー矢田、東図書館、名城大学ナゴヤドーム前キャンパス
イオンモールナゴヤドーム前

※新型コロナウイルス感染拡大防止の影響による東京会場の開催延期を受け、5月開催を中止し、翌年3月での開催を調整中。

鑑賞事業

(1) 市民のための芸術鑑賞会 ※自主財源事業（決算額 11,798,102円）

大規模ホールを中心に、優れた舞台芸術を鑑賞していただく公演を開催した。

- 1 桂文枝 春風亭小朝 東西落語名人会
日程／令和元年5月28日(火)〈1回〉 会場／日本特殊陶業市民会館ビレッジホール
入場者数／1,082人（入場者好評価率／93.2%）
- 2 人形浄瑠璃「文楽」
日程／令和元年10月4日(金)〈2回〉 会場／芸術創造センター
昼の部／「生写朝顔話」明石舟別れの段、笑い葉の段、宿屋の段、大井川の段
夜の部／「ひらかな盛衰記」松右衛門道の段、逆櫓の段「日高川入相花王」渡し場の段
入場者数／1,320人（入場者好評価率／97.3%）
- 3 鬼太鼓座コンサート
日程／令和元年9月25日(水)〈1回〉 会場／青少年文化センター アートピアホール
入場者数／624人（入場者好評価率／96.0%）

(2) 市民半額鑑賞会 ※自主財源事業（決算額 1,734,355円）

日本演劇興行協会加盟ホールである御園座の公演を半額で市民に提供した。

第1回	令和元年 7月～ 9月	／応募枚数4,340枚	当選枚数1,298枚	提供枚数1,084枚	
第2回	令和元年10月～12月	／応募枚数4,810枚	当選枚数1,809枚	提供枚数1,495枚	
第3回	令和2年 2月～ 4月	／応募枚数9,458枚	当選枚数1,360枚	提供枚数 517枚	
		計	18,608枚	4,467枚	3,096枚

※新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、3月の3公演と4月の4公演が中止された。

(3) なごや子どものための巡回劇場 〈実行委員会形式〉※負担金事業（決算額 8,998,160円）

演劇、人形劇、音楽劇、交響楽、伝統芸能、バレエ等の公演を、子どもたちに身近な会場（文化小劇場）で開催した。

公演回数／32公演 ※上期1日2公演は台風のため中止した。下期4日8公演は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により中止した。

出演／名古屋二期会、名古屋フィルハーモニー交響楽団、越智インターナショナルバレエ
プレジャー企画、セントラル愛知交響楽団、演劇人冒険舎（6団体）

入場者数／5,144人（入場者好評価率／95.3%）

(4) アッセンブリッジ・ナゴヤ2019 〈実行委員会形式〉※負担金事業（決算額 966,442円）

名古屋港の周辺エリアで開催する音楽とアートのフェスティバル「アッセンブリッジ・ナゴヤ」（令和元年9月7日～11月10日）のうち、「わたしの好きなうた」3公演を実施した。

「わたしの好きなうた」

会場／ポートハウス（名古屋港）

1 ミュージカルステージ

日程／令和元年9月21日（土）〈1回〉

出演／奥村育子、吉田ひろき、弦楽四重奏リリカ 入場者数／194人（入場者好評価率／89.0%）

2 日本のうたステージ

日程／令和元年10月6日（日）〈1回〉

出演／酒井和音、井原義則、山田弦楽四重奏団 入場者数／276人（入場者好評価率／89.8%）

3 オペラステージ

日程／令和元年10月14日（月祝）〈1回〉

出演／趙 知奈、遠山貴之、Cool Mens La 入場者数／171人（入場者好評価率／94.3%）

入場者数計／641人（入場者好評価率／91.0%）

友の会事業 ※自主財源事業（決算額 10,242,160円）

会員向けのコンサートや落語会、参加・体験型イベント事業を行うとともに、催し物情報等を掲載した情報誌「友の会だより」を発行した。

1 事業団主催事業などの会員向け優先予約や割引

2 会員への情報提供事業

市内文化情報やイベント情報を毎月送付

3 会員を対象とする文化事業〈8事業〉

公演事業／加藤恵利子コンサート、古謝美佐子コンサート、春風亭小朝新春独演会

扇辰・きく麿落語二人会 ※扇辰・きく麿落語二人会は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により中止した。

講座事業／ボカラの会の読み語り講座、折り紙講座、日本茶ワークショップ、絵画教室

入場者数／1,668人（入場者好評価率／95.8%）

2 表彰等の実施、活動の場の提供及び相談助言を通じて、芸術家及び文化芸術団体等の創造活動を支援する事業

文化芸術活動のうち創作や発表といった創造的な活動を行う環境を整備するため、文化芸術を支える芸術家及び文化芸術団体等を対象として、表彰・コンクールを実施するほか、活動の場を提供したり、相談に応じることを通して、創造的な文化芸術活動を支援することにより、文化芸術の振興に寄与した。

(1) 総合舞台芸術公演 ※補助金事業（決算額 38,307,806円）

2020年企画公演 ミュージカル「アニーよ銃をとれ」

『ショーほど素敵な商売はない』のミュージカルナンバーで知られるブロードウェイミュージカルの名作「アニーよ銃をとれ」を制作・上演した。

日程／令和2年2月22日（土）～24日（月・振休）〈6回〉 会場／青少年文化センター アートピアホール

脚本／ハーバート・フィールズ、ドロシー・フィールズ 改訂／ピーター・ストーン

作曲／アーヴィング・バーリン

上演台本・訳詞・演出・振付／荒巻 正 音楽監督・指揮／上垣 聡

管弦楽／セントラル愛知交響楽団

オーディション応募者数／207人 出演者数／42人

入場者数／3,008人（入場者好評価率／99.0%）

出演者による福祉施設（2会場）への出張コンサート

入場者数／208人（なごやかハウス滝の水／68人、名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごや／140人）

企画公演のあゆみ「ポスター・写真展」

会期／令和元年12月10日（火）～12月15日（日） 会場／市民ギャラリー矢田 第2展示室

入場者数／325人

(2) 企画コンペティションによる美術展 ファン・デ・ナゴヤ美術展2019

※補助金事業 (決算額 3,074,511円)

企画者・美術家からのアイデアを公募し、コンペティションによる選考を経て、斬新な美術展を開催した。

企画応募件数/12件

日程/令和2年1月9日(木)~26日(日) 会場/市民ギャラリー矢田

企画/第1展示室「下手があるので、上手が知れる」後藤あこ、山中奈津紀

第2~4展示室「ここに在ること」三枝由季

第5~7展示室「コンステレーション/布置された星」垂谷知明

入場者数/3,549人 (入場者好評価率/77.8%)

次年度企画応募件数/22件

(3) 舞台芸術創造事業 ※補助金事業 (決算額 7,799,866円)

名古屋の演劇人が贈る名作劇場「煙が目にしみる」

名古屋を中心に活動している演出家と俳優が劇団の枠を越えて集まり、質の高い演劇公演を開催した。

日程/令和元年12月13日(金)~15日(日) (4回) 会場/東文化小劇場

作/堤 泰之 演出/神谷尚吾

出演/名古屋を中心に活動している俳優12人

入場者数/976人 (入場者好評価率/97.9%)

(4) 名古屋市民芸術祭2019 ※補助金事業 (決算額 8,401,639円)

総合的な芸術の祭典として、令和元年10月~11月に名古屋市民芸術祭2019を開催した。

1 主催事業

(1) 名古屋市民文芸祭

募集期間/令和元年8月21日(水)~9月20日(金)

応募件数/7,827件 (応募者数/4,293人)

授賞式/令和元年11月16日(土) 会場/中村文化小劇場 入場者数/141人

(2) 企画美術展「昨日とおなじ未来に」

日程/令和元年10月17日(木)~11月4日(月・休)

会場/愛知県立芸術大学サテライトギャラリーSA・KURA

入場者数/504人 (入場者好評価率/81.0%)

(3) 名古屋いけばな芸術展2019

日程/令和元年10月29日(火)~11月3日(日・祝) 会場/市民ギャラリー栄

入場者数/10,357人 (入場者好評価率/86.2%)

(4) 名古屋市民美術展

日程/令和元年11月19日(火)~24日(日) 会場/市民ギャラリー栄

入場者数/3,788人 (入場者好評価率/78.7%)

(5) 名鶴ダンスカンパニー公演「Nous2019『BOOK』」

日程/令和元年11月23日(土・祝)・24日(日) (2回) 会場/青少年文化センター アートピアホール

入場者数/1,107人 (入場者好評価率/95.1%)

2 参加事業

参加公演 20公演 ※申込件数38件

受賞公演 市民芸術祭賞 3公演 (音楽1公演、舞踊公演1公演、伝統芸能1公演)

特別賞 5公演 (音楽1公演、演劇2公演、舞踊1公演、伝統芸能1公演)

入場者数計/9,090人

(5) 歴史文化普及啓発事業 やっとかめ文化祭〈実行委員会形式〉※負担金事業（決算額 5,974,679円）

歴史的建造物や文化資産を活用する名古屋独自の歴史文化のイベント「やっとかめ文化祭」（令和元年11月1日～11月17日）のうち、名古屋の優れた伝統芸能を紹介する「芸どころ名古屋舞台」3公演を実施した。

- 1 ～伝統は時代を超えて～ 狂言「長光」 ろうそく能「鶴亀」
日程／令和元年11月1日（金）〈1回〉 会場／名古屋能楽堂
入場者数／324人（入場者好評価率／91.1%）
- 2 ～受け継がれる津軽三味線の響き～ 三味線コンサート
日程／令和元年11月10日（日）〈3回〉 会場／芸術創造センター
入場者数／355人（入場者好評価率／95.7%）
- 3 ～未来へつなぐ日本の音色～ 三曲コンサート
日程／令和元年11月17日（日）〈1回〉 会場／青少年文化センター アートピアホール
入場者数／576人（入場者好評価率／95.3%）

入場者数計／1,255人（入場者好評価率／94.0%）

(6) 文化芸術活動アドバイザー ※補助金事業（決算額 513,000円）

美術・文学・音楽・演劇の各分野で活躍中の講師が、無料で相談に応じ、アドバイスをを行った。

土曜日、日曜日の13:30～17:00 文化情報ひろば

開設日数／54日 相談件数／119件

※新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、2月下旬～3月末の6回分を中止した。

(7) 芸術創造賞 ※自主財源事業（決算額 1,087,599円）

前年度における芸術創造活動が特に顕著で、名古屋の文化芸術の向上と発展に寄与し、今後とも活躍が期待できる個人（団体）を選考し、第35回芸術創造賞を授与した。

受賞者／柴野理奈子〈児童文学〉、下斗米大輔〈舞台衣裳〉

授賞式／令和元年6月13日（木）

(8) イベント開催等支援事業 ※自主財源事業（決算額 6,890,299円）

1 イベント開催支援

イベントの開催を検討している主催者に、より質の高いイベントが制作できるよう、企画から実施に至るまでの開催支援を行うとともに、地元で活躍するアーティストの発表の場として機会を創出した。

受託件数／13件（芸術と科学の杜、「なごやっ子読書の日」啓発イベント、救急防災フェスタ 他）

※新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、3月のイベントが中止された。

2 名古屋市文化振興事業団チケットガイドの運営

事業団が管理する23施設をオンラインでつなぐチケット販売システムの運営、各種事業の案内など、地元の文化芸術をサポートするチケットガイドを事業団本部内で運営した。

販売枚数／42,318枚

3 文化芸術に関する相談窓口

各種助成金、サークル・団体紹介、公演やイベントに関する相談など、文化芸術に関する相談窓口をチケットガイドで運営した。

相談件数／297件

(9) ナゴヤ・パフォーマー事業 Nagoya POP UP ARTIST <実行委員会形式>

※負担金事業（決算額 3,693,046円）

アーティストの活動支援とまちの賑わいづくりに寄与するため、音楽や大道芸など幅広いアーティストを公募し、書類審査、公開審査を経てライセンスを発行した。ライセンスを持つアーティストは地下鉄駅や公園、商業施設などの会場の決められた日程の中で、パフォーマンスを行った。

一次審査（書類、映像・音源による） 令和元年7月23日（火） 〈応募数85組→29組選考〉

二次審査（公開審査による） 令和元年8月23日（金）～24日（土） 〈29組→21組選考〉

認定アーティスト数／116組（95組が継続、21組が新規）

会場／メイカーズピア、今池ガスビル、名古屋城など市内24施設

パフォーマンス実施回数／2,442回

(10) 文芸による名古屋の魅力発信事業 コトノハなごや <実行委員会形式>

※負担金事業（決算額 2,505,848円）

名古屋の魅力発信と、文芸分野の普及・育成を目的として、名古屋にまつわる写真から連想する物語を公募し、優秀作品を表彰するとともに、作品募集期間中に参加体験プログラムを実施した。

①作品募集プログラム

募集期間／令和元年6月26日（火）～9月18日（水）

応募作品数／336件

一次選考／愛知淑徳大学の学生により入選作品20件を選考

最終選考／入選作品から金賞1件、銀賞2件、佳作2件の計5件の入賞作品を選考
選考…中村 航（作家）、吉川トリコ（作家）、武田 俊（編集者）

入賞作品／金賞：やまとみやよい「行き先は星々の世界」

銀賞：きなごはん「頑張れよ」、あるのみ弥矢「妖怪」

佳作：わたりゆか「人生大逆転ボート」、カトートシ「大学4年生」

発表・授賞式／「コトノハなごやサロン」にて発表し、授賞式を行った。

②参加体験プログラム

フィールドワーク 日程／令和元年7月27日（土） 会場／有松地区

講師／宮田雄平

※台風のため中止した。

ワークショップ 日程／令和元年8月24日（土） 会場／青少年文化センター 第1スタジオ

講師／太田忠司 参加者数／14人

コトノハなごやサロン 入賞作品の発表・授賞式と選考委員による入選20作品の公開講評トーク

日程／令和元年12月1日（土） 会場／青少年文化センター 7th cafe

入場者数／64人

(11) Nagoyaチラシデザイン大賞 ※自主財源事業（決算額 301,727円）

市内で開催される文化芸術事業に関する広報用チラシを対象にデザインコンテストを開催し、優れた作品のデザイナーを表彰するとともに、応募されたチラシを展示した。

募集期間／平成31年4月～令和2年2月4日（火）

応募件数／107件

受賞作品／大賞：平井 秀和「ART NAGOYA 2020」

入賞：岩田 和也「R.O.D -今昔物語-」

o c c i 「カクシゴト」

渡辺 有史「フランス音楽の夕べ」

佳作：3件

作品展示／令和2年3月10日（火）～15日（日） 会場／市民ギャラリー矢田 第7展示室

令和2年3月18日（水）～30日（日） 会場／文化情報ひろば（ナディアパーク7階）

※市民ギャラリー矢田の展示会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により中止した。

(12) アクテノン記念 江崎演劇賞 ※自主財源事業 (決算額 403,755円)

2018年6月にご逝去された故江崎順子氏(劇団・夏蝶)の遺志を受け継ぎ、ご遺族からの寄附金をもとに、故人の名古屋市域における演劇分野の振興に対する情熱とアクテノンへの想いを後世に受け継ぐことを目的として演劇賞を創設。近年の演劇活動がとくに顕著で、名古屋市域の演劇の振興に貢献のあった個人(団体)を選考し、第1回アクテノン記念江崎演劇賞を授与した。

授賞者/小嶋彩子<俳優>

※3月に予定していた授賞式は、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により延期した。

3 文化芸術に関する情報を収集し、市民に提供する事業

文化芸術の活性化を図るため、市内を中心として活動する芸術家及び文化芸術団体等の創造活動の状況の調査及び資料収集を行い、それらの情報を情報誌の発行やホームページの運営等の様々なかたちで広く発信することを通して、文化芸術に関する情報を広く市民に提供することにより、市内の文化芸術の活性化を図った。

(1) 文化情報誌の発行 ※補助金事業 (決算額 3,324,793円)

「なごや文化情報」(12ページ)を発行し、名古屋地域における舞台芸術、美術、文学、生活文化等の活動に関する情報を市民に提供した。

発行部数/8,000部

発行回数/6回(隔月刊)

(2) Webでの催し物案内 ナゴヤアートナビ ※補助金事業 (決算額 2,307,228円)

市内文化施設の催事案内のほか、市民主催の文化芸術イベントを掲載した。

アクセス件数/6,683件

事業掲載件数/7,299件

(3) 文化情報ひろばの運営 ※補助金事業 (決算額 6,401,753円)

名古屋地域で開催される公演のチラシの配架、ポスターの掲出、CINEMA PORTでの映画情報の提供、芸術関係の図書の見聞コーナーを設けるなど、文化情報ひろばを運営した。

4 文化芸術を活用した他分野連携事業の試行実施

名古屋市文化振興計画2020に掲げる「新たな文化芸術の推進体制(名古屋版アーツカウンシル)の検討」を進めるため、必要な事業を実施(試行)した。

名古屋版アーツカウンシルの実施(試行) ※負担金事業 (決算額 5,724,310円)

(1) 他分野連携事業

①文化活動連携支援事業

まちづくり、産業、教育、福祉、医療などの他分野と連携する文化芸術活動を公募し、伴走型の支援を行った。

応募件数/12件 採択件数/2件

(劇工房MAKO企画【演劇×観光】、日本ホスピタル・クラウン協会【クラウン×医療】)

②若手芸術家育成事業

ソプラノデュオ・山田姉妹と、音楽家・内門卓也が同朋高校を訪問し、音楽科の生徒に対して講義や指導を実施。指導の成果を、同朋高校音楽科卒業演奏会のプログラム内で共演し発表した。

日程/令和元年11月12日(火)、12月10日(火)、令和2年1月10日(金)〈3回〉

講師/山田姉妹、内門卓也 訪問先/同朋高校音楽科(40人)

演奏会入場者数/385人

(2) 体制の構築に向けた検討

名古屋版アーツカウンシル準備委員会を立ち上げ、名古屋市と定期的に検討会議を重ねたり、アーツカウンシル・ネットワークミーティングに参加し全国の取り組み事例を調査するなど、本格実施を見据えた協議を進めた。

※令和2年度も引き続き調査・検討を進め、令和3年度以降の本格実施に向け準備する。

5 文化活動拠点づくりのための文化事業

名古屋市から指定管理者として受託した文化施設を、市民の文化芸術の活動の場として提供し、併せて施設及び地域の特性を生かした文化事業を行った。

(1) 施設管理

名古屋市から指定管理者として受託した名古屋市芸術創造センター、名古屋市青少年文化センター、名古屋能楽堂、名古屋市文化小劇場15館（中村・南・西・港・天白・名東・守山・北・緑・東・熱田・千種・中川・瑞穂・昭和）、名古屋市民ギャラリー2館（栄・矢田）、名古屋市演劇練習館、名古屋市東山荘及び名古屋市上社レクリエーションルーム、合計23施設の管理運営を行った。

※北文化小劇場においては平成31年4月1日～令和2年2月29日、天白・名東文化小劇場においては平成31年4月1日～令和2年3月31日まで、天井脱落対策工事のため休館

(2) 施設事業

上記の23施設において、420事業（うち33事業は新型コロナウイルス感染症の影響により中止）を実施した。主な事業は下記の通り。

主な事業

- 1 ナゴヤワークショップフェスタ2019「ポッシブル！」
音楽、演劇、伝統芸能、ものづくりなど多彩なワークショップの祭典を開催した。
開催時期/令和元年8月6日（火）～12日（月・祝）7日間
会場/芸術創造センターはじめ18施設
講座数/64講座
参加者数/1,065人
- 2 市内の小学4年生を対象に生の文化芸術にふれる機会を提供し、次世代の鑑賞者を育てることを目的に、クラシック音楽の「体験型レクチャーコンサート」を開催した。
開催時期/6月〈12回〉
会場/文化小劇場8館
参加対象/名古屋市内の小学4年生（34校）
参加者数/2,591人
- 3 劇場パートナーの運営
各文化小劇場において、文化芸術活動の促進と地域コミュニティの形成による地域課題の解決を目的に、子どもから高齢者までが参加する様々なジャンルの実演団体を運営した。
中村文化小劇場 劇団 座・なかむら（演劇）
南文化小劇場 みなみシニア吹奏楽団（音楽）
西文化小劇場 西文化小劇場オペラ合唱団（音楽）
港文化小劇場 みんなとみなとコーラス（音楽）
天白文化小劇場 地域劇団「劇団 天白月夜」（演劇）
名東文化小劇場 名東ウィンドオーケストラ「オハナ」（音楽）、名東朗読舎（朗読）
守山文化小劇場 もりっこ彩合唱団（音楽）
北文化小劇場 The Polar Star Jazz Orchestra（音楽）
緑文化小劇場 劇団みどり（演劇）
中川文化小劇場 合唱団クローバー（音楽）
瑞穂文化小劇場 子ども歌劇団 瑞穂コペレッタ（オペラ）
昭和 culture 小劇場 子どもミュージカル劇場 show-Wa!（ミュージカル）

事業報告の附属明細書

平成31年度（令和元年度）事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありませんので、附属明細書は作成しておりません。